

# まっぴだ 森の家

## 後継者をご紹介します

後継者公募から3か月以上たった3月下旬に、2組(3人)の応募がありました。  
自閉症児の親御さんからのご紹介と、支援者の方からボランティアとしてのご紹介)  
今までの役員、スタッフとのやりとりの中で、「この3人でチームを組んで森の家を！」  
という強い思いが生まれました。  
折しもコロナの緊急事態宣言が出され、先のことは見通せない時期になりましたが、  
森の家はこの一年を有効活用して新旧スタッフは共に仕事をしつつ前進していきます。  
若い力に希望を託す現状を皆様にお伝えできることを、大変嬉しく思っています。

なかむら みき ともひろ  
中村 実紀・知博 新厨房・管理スタッフ(現在見習い)

写真右：1977年生まれ。前橋市出身。生パスタ製麺所「コナリエ」を7年前に起業。「愛あるおいしくて楽しい時間を提供する事」を理念に、地元農家とおうちごはん応援の実店舗営業、ネット販売店の代表を務める。

写真左：1978年生まれ。鹿児島市出身。東京の会社に所属する、ニューヨーク為替市場シニアアナリスト。在宅ワーカー。実紀さんの公私ともに強力なパートナーでもある。



「障がいがあってもなくても、ココロとカラダの休日を」コンセプトにする森の家の継続を強く願い、後継者公募に参加しました。現状況下、宿泊施設には非常に厳しい時期ですが、今後は安心できる宿泊施設の必要性がより高まっていくことと思います。  
森の家が、みなさまにも私たちにも過ごしやすい場所になるよう、見習いながらできることをお手伝いしていきます。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

たかはし たかこ  
高橋 貴子 新女将(現在見習い)

1994年生まれ。安中市出身。小学～高校生まで認知症の祖母の介護を経験。  
高3時、薬害に遭う。重篤な症状に陥り、県外での長期入院生活を経て2019年自宅へ戻る。リハビリを兼ね、車いすネットボール開始。ユニバーサルな交流を目的とした、安中ボッチャクラブ(ボランティア団体)を創設。  
現在、早稲田大学 人間科学部 通信教育課程 最終学年。



入院中は生き立ちを振り返り、「どう生きていくか」をじっくり考える良い機会でした。出した答えは、多面的な意味をもつ「バリアフリーペンションを中核とした交流の場・居場所をつくること」。構想を練っていました。帰宅後、人と人との繋がりによって森の家の後継者公募を知りました。まさに運命的な出会いでした。これまでの森の家を継承しつつ、「パワーアップしたね」と呼ばれるよう努力して参ります。どうぞ皆様のご経験や考えていること、森の家の思い出など、お聴かせいただければ嬉しいです。皆様とお会いできる日を楽しみにしております。